

# ロシア・東欧学会 *Newsletter*

## 宇多文雄 新代表理事挨拶

2000年10月23日の理事会において、川端香男里代表のあとを受けてロシア・東欧学会の代表理事に選出されました。一つの学会を代表する職務につくということは、私のような浅学非才の身にとっては過重の負担であり、ご辞退申し上げたい心境でしたが、これまでお世話になった学会に奉公せよということだろうと解釈して、お受けすることにいたしました。代表がすべきことは、なによりも会員の総意の上に立って、会を正常に運営することだと思います。微力ながら本学会発展のために力を尽くす所存ですので、他の役員を初め、会員の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

**新**世紀に入っても、ロシアと東欧をめぐる情勢は複雑さを増し、それを研究する必要性はますます高まっております。ロシアが今後どのような国になっていくかは予測困難ですし、「旧東欧」諸国、「旧ソ連」諸国は千差万別で、いつまでも「旧」という形容詞に頼って一括しているわけにはいかないでしょう。

そのような対象に対するわが国の研究態勢もきわめて流動的のように思われます。ロシア本体に関して言えば、ロシア語人気も、ロシアの社会と文化に対する興味・関心も急激に冷え込んでいます。それは、広義の日本の国益からみれば、ゆゆしい事態とさえ言えます。そんな状況の中で、わがロシア・東欧学会の存在理由と責任は増大する一方です。

**わ**が国におけるロシア（ソ連）、東欧の研究全体の中で、本学会が果たした役割がきわめて大きかったことは、皆さんにもご同意いただけるでしょう。ただ、変化の激しい現在と将来を考えますと、従来並みの役割を演じ続けることは容易ではないと思われまます。研究の内容・水準は今後とも個々の会員の研究そのものに依存する以外にないわけですが、本学会としては、従来同様高度な研究を生むような環境整備に少しでも貢献でき

れば、と思っております。

新役員名簿をご覧いただければおわかりのとおり、4名の役職者は全員交代し、理事構成もかなり変わりました。未知の船出となるわけですので、くり返し、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 2000年度総会で新役員承認される

2000年は3年ごとに行われる役員改選の年にあたりまます。そこでまず2000年1月22日の理事会で選挙管理委員会が設置され、委員長には上野俊彦会員、委員に左治木吾郎会員、溝端佐登史会員、宮本勝浩会員が選任されました。また、委員長指名により末澤恵美会員が委員として補充されました。

理事選出のための郵便投票は6月に行われ、6月30日の締め切り後、即日開票され、郵便投票により22名の新理事が選出されました。なお、役員選出規定によれば、郵便投票では20名の理事が選出されることになっていますが、今回、19位が4名いたため、規定により、郵便投票により22名の理事が選出されたこととなります。

この郵便投票によって選出された22名の新理事は、第29回大会（神奈川大学）にあわせて2000年10月22日に招集され、規程に従って残りの18名の理事を、専攻・地域・年齢等を考慮して選出することになりました。規程によれば理事は40名でなければならないからです。しかし、次回の大会開催校から理事が選出されるべきことなどが申し合わされ、2名を保留にして、合計16名の理事が新たに指名され、あわせて38名の新理事が翌23日の総会で承認されました。

ついで新理事による新代表理事の選出が行われ、宇多文雄会員が選出されました。また年報編集委員長には松井弘明会員が選出されました。さらに、宇多新代表理事の指名により副代表理事には宮本勝浩会員が、事務局長には上野俊彦会員が就任することとなりました。

### ロシア・東欧学会役員名簿（2000～2003年）

**代表理事** 宇多 文雄    **副代表理事** 宮本 勝浩  
**編集委員長** 松井 弘明    **事務局長** 上野 俊彦  
**理事** 家本 博一 / 伊東 孝之 / 岩田 賢司 / 岩田 昌征  
/ 大津 定美 / 大野 喜久之輔 / 小澤 治子 / 香川 敏幸  
/ 加藤 寛 / 川端 香男里 / 木村 汎 / 斎藤治子 / 斎藤  
元秀 / 左治木 吾郎 / 下斗米 伸夫 / 田久保 忠衛 / 寺谷  
弘壬 / 中井 和夫 / 中澤 孝之 / 中本 信幸 / 西村 文夫  
/ 丹羽 春喜 / 沼野 充義 / 袴田 茂樹 / 羽場 久シ尾子 /  
林 忠行 / 廣岡 正久 / 福田 亘 / 藤本 和貴夫 / 細川 隆  
雄 / 溝端 佐登史 / 皆川 修吾 / 村上 隆 / 森下 敏男 /  
横手 慎二（空席1）  
**会計監事** 木村 明生 / 吉田 靖彦

## 2001年度大会は10月6・7日愛媛大で

新役員体制になって最初の理事会が2001年2月3日に上智大学で開催されました。理事会には、代表理事以下の役員を含め21名の理事が出席して行われました。

第1議題は2001年度大会開催校の決定で、2001年度は、愛媛大学が選ばれ、愛媛大に所属する細川隆雄会員のご快諾を得ることができました。大会日程は開催校の都合を優先し、2001年10月6日（土）・7日（土）と決定されました。また、細川会員は理事に就任していただくことも決定されました。

第2議題は2001年度大会の共通論題の決定で、これについては、「21世紀のロシア・東欧：グローバリゼーションと地域変容」と仮決定し、さらにその細目を政治（主として「ロシアのフェデラリズム」）、経済（主として「旧東欧の経済変容」）、文化・社会・宗教（「CISの変容」を含む）、国際関係・外交、とすることが合意され、報告者その他の詳細は大会企画委員会に一任するということになりました。

第3議題は大会企画委員会の編成で、委員には、宮本勝浩会員（委員長）、細川隆雄会員（開催校代表）、家本博一会員、岩田賢司会員、中野潤三会員、中村裕会員、沼野充義会員、福田亘会員が選任されました。

第4議題は、年報編集委員会の構成の承認と、年報の編集方針変更の問題でした。まず、松井弘明・年報編集委員長より編集委員の構成についての提案があり、岩田

賢司会員、小澤治子会員、斎藤元秀会員、左治木吾郎会員、末澤恵美会員、沼野充義会員、兵頭慎治会員、溝端佐登史会員が年報編集委員として承認されました。次いで年報編集委員長から、年報の編集方針を前年度の大会報告論文を中心とするものから、独立論文を中心とするものへと変更したいとの提案があり、編集方針の変更についてはある程度の支持があったものの継続案件となりました。

第5議題として事務局引継ぎに関連する会務報告、第6議題として日本学術会議に関連する報告が行われました。

## 会費納入のお願い

事務局の会計記録に従い、2000年度までの会費について未納分がある方には、このロシア・東欧学会 *Newsletter* といっしょに「未納会費納入のお願い」を同封いたしました。「お願い」には、個人別に、1998～2000年度の未納状況をお知らせしてありますので、それに従ってなるべくお早めにお支払いいただけますようお願い申し上げます。なお、この件につきまして事務局は最善を尽くしておりますが、ご不審の点がございましたら遠慮なく事務局までお申し出下さい。

また2001年度会費につきましては、新年度に入ってから発送する予定の郵便振替用紙をお受け取り次第、なるべくお早めに納入していただけますよう重ねてお願い申し上げます。

### 編集後記

理事会と会員とのあいだをつなぐメディアとして、ロシア・東欧学会 *Newsletter* を発行することになりました。最初は地道に、年2回程度、発行しようと考えています。まだ、事務局を引き継いだばかりで、会計や事務処理なども不慣れで、会員諸氏には、しばらくご迷惑をおかけすることになるかもしれませんが、なにとぞよろしくお願いいたします。（事務局長）

### ロシア・東欧学会事務局

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1  
上智大学外国語学部ロシア語学科  
10号館 446 研究室（上野研究室）気付  
Tel.: 03-3238-3978; Fax: 03-3238-3087  
e-mail: t-ueno@hoffman.cc.sophia.ac.jp